



SENPUKUGAOKA

広報千福が丘

今年も快晴のもと、 盛大に「どんど焼き」を行いました！

自治会広報部
Public Relations SENPUKUGAOKA

去る1月14日午前中に千福が丘小学校で「どんど焼き」が行われました。

その風景をご紹介します。

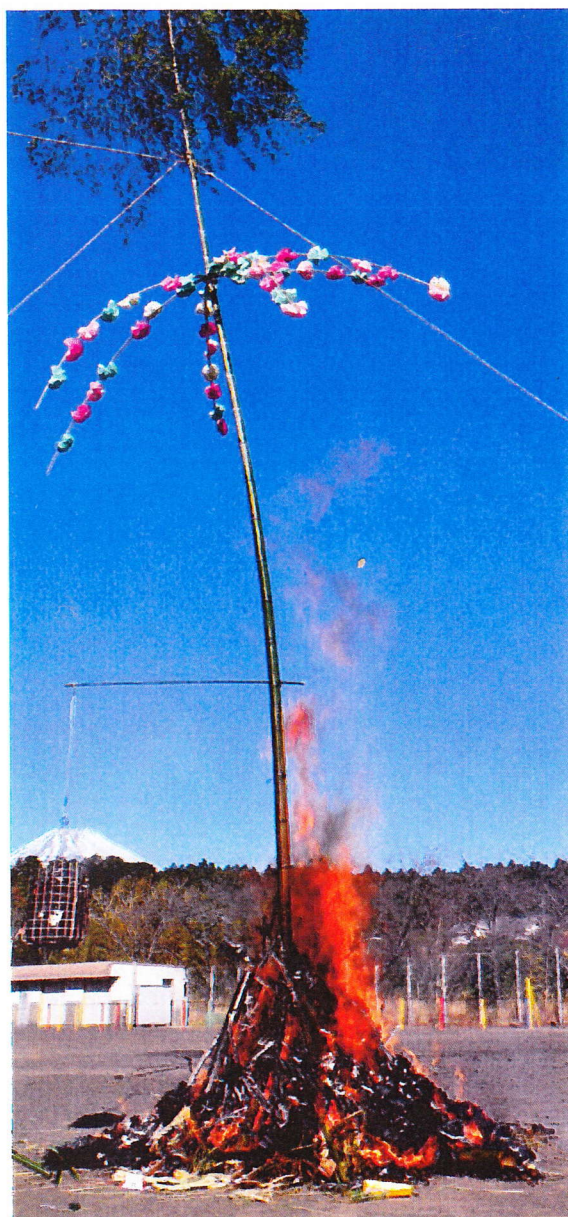
どんど焼きは、ご存知、正月飾りや書初めなどを神社や地域の広場に持ち寄ってお焚き上げる日本の伝統的な火祭り行事です。

正月に迎えた歳神様を見送り、一年の幸せを祈願するために、旧暦の新年最初の満月の日にあたる1月15日前後に行われます。古いものを清め新しい年を迎える日本の文化の一環として、重要な意味を持ち、焼かれた炎が高く上がるほど、その年の作物が豊作になると信じられています。

かつて、農業が盛んな地域の農家さんは、冬の農閑期にしめ縄飾りや門松を製造、販売し生計を立てていました。収入の少ない農閑期に、農家を支援する仕組みでもあったのです。同時にしめ縄作りは農家さんの生きがいの一つでもありました。それもあって、お焚き上げを行い、毎年真新しい門松やしめ縄で家々を飾り、新たな年を迎える風習が生まれたのかもしれない。

千福が丘小学校で行われた「どんど焼き」、今年は「おでん、おしるこ」を区内行事の役員さんが用意してくれて行列ができ、各200人分全部無くなりました。

また、有志の方の「ミニ・セグウェイ」試乗会も行われ、楽しく終わりました。
今年もいい年になりますように！



有志の方提供の「ミニ・セグウェイ」他試乗会